

重点課題 1

【総合的な治安対策の推進】

自己評価

取組中

危機管理監セルフレビュー（自己点検）

私は、安全・安心を実感できる大阪をつかっていくため、「地域力の再生と強化」をキーワードに、地域住民が主人公の犯罪防止ネットワークの構築と少年非行の防止の取組みを推進しました。

地域安全センターは目標とした 14 小学校区を達成しましたが、少年補導センターについては、目標 7 箇所に対し、4 箇所の設置に留まりました。

教育委員会や警察との連携を強化し、市町村や住民に対し非行防止活動の必要性や補導活動の重要性の説明を尽くしました。その結果、市町村等へ理解が深まり、22 年度の設置拡大に向けた素地ができたと考えます。

また、アウトプットに掲げた街頭犯罪認知件数のワーストワン返上は平成 23 年末が目標ですが、22 年ぶりに 10 万件を下回り、東京都との差は平成 20 年の 18,349 件から 8,808 件まで迫りました。

アウトカムに掲げた府民意識については、平成 21 年度の実施による結果の調査を 7 月に実施する予定です。

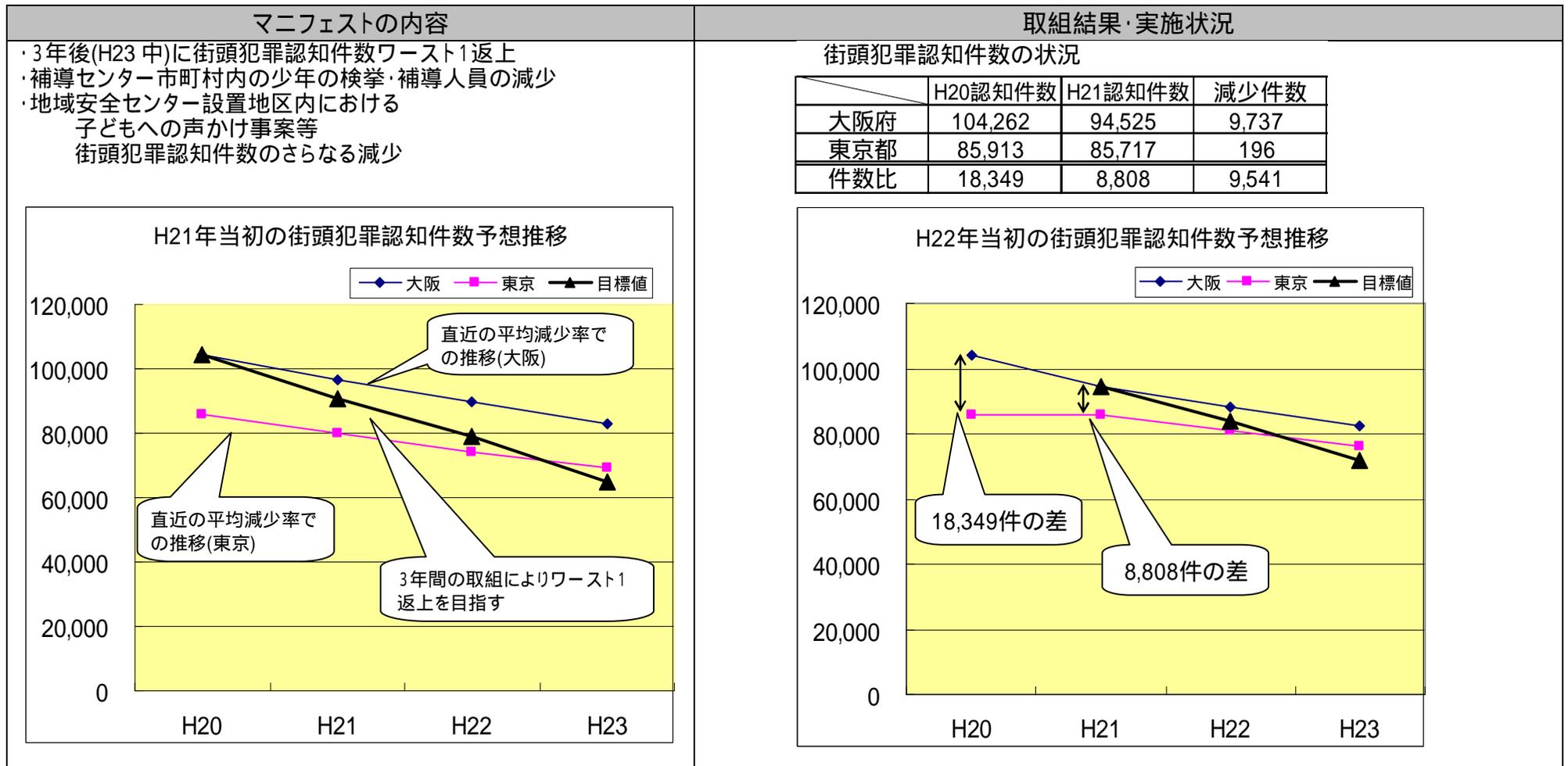
平成 21 年度に取り組んだ地域安全センターや少年補導センターの設置により、住民の理解は広まってきています。今後は、土木事務所への警察官の配置等の体制強化や地域力再生支援事業による活動補助などにより、両センターの設置拡大を進め、街頭犯罪の抑止を図っていきます。

平成 21 年度 of 取組結果・実施状況

《その実現に向けて、今年度何をするのか？～施策推進上の目標》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
総合治安対策の司令塔機能の確立 (庁内連携体制の構築)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合治安対策庁内推進会議 (H21.6.11) を立ち上げ、総合治安対策の施策の体系化の協議、各部署連携による事業推進を実施しました。 ・ 府警本部や市町村などと連携した取り組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪多発地域防犯カメラ設置事業にて、33 市町において、352 箇所、1,361 台を設置しました。 大阪府青色防犯パトロール推進委託事業 (実施時間: 22 時～5 時、実施台数 23 台) について、平成 21 年 10 月 2 日の開始から犯罪抑止のための警戒活動を実施しました。 大阪府安全なまちづくり推進会議を開催 (H21.6.22) し、平成 23 年中に街頭犯罪認知件数全国ワーストワン返上を目標にオール大阪での取組推進を確認しました。
地域安全センターの設置促進 (目標) 14 小学校区設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土木事務所 (地域支援課) などと協力し、40 市町村 (30 市 9 町 1 村) に地域安全センター事業の説明、設置の働きかけを実施しました。 ・ 今年度は、5 市 2 町で 14 小学校区 (大阪狭山市 6 小学校区、八尾市及び河内長野市 2 小学校区、松原市、東大阪市、岬町及び田尻町 1 小学校区) に設置し、犯罪防止ネットワークの活性化による地域力の再生に努めました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少年補導センターの設置促進 (目標) 市町村に 7 箇所設置 ・ 少年育成活動員 仮称 (ボランティア) 400 人養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 39 市町村 (29 市 9 町 1 村) に少年補導センター事業の説明、設置の働きかけを実施しました。 ・ 今年度は、4 市で設置しました。 <ul style="list-style-type: none"> Izumitsu City 少年声かけセンター (通称 together) (泉大津市) 池田市教育委員会教育部青少年センター (池田市) 阪南市少年ふれあいセンター (阪南市) 和泉市補導ネットワーク会議 (和泉市) ・ センターを設置した 4 市で補導ボランティア養成研修 (合計 198 名参加) や府内 6 地域で、センターの活動を広めるため講演会を実施しました。 (合計 215 名参加)
青少年健全育成団体との連携 (地域における青少年健全育成の仕組づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年問題協議会の議論を経て、「こども・未来プラン後期計画」を策定しました。 ・ ニート・ひきこもり等社会生活を営む上で困難を有する青少年を支援するための「地域における支援ネットワーク実証実験モデル事業」を実施しました。

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトプット》



《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトカム》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
-----------	-----------

府民の安心感の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 府民意識調査の結果：治安が「どちらかといえば悪い+悪い」の割合 51.6% 目標(3年後)：治安が「どちらかといえば悪い又は悪い」の割合を 50%以下(2人に1人以下) 平成 21 年度の取組み結果については7月に調査予定。
地域防犯活動をはじめとする地域コミュニティの活性化を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 府民意識調査の結果：「住民による防犯活動が、行われている+どちらかといえば行われている」割合 24.6% 目標(3年後)：「住民による防犯活動が行われている+どちらかといえば行われている」割合を 33%(3人に1人) 平成 21 年度の取組み結果については7月に調査予定。
少年非行が改善したと府民が実感できることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> 府民意識調査の結果：少年非行に対する府民の意識「喫煙したり、たむろしたり、深夜徘徊等不良行為を見かけることがよくある」府民の割合 23.1% 目標(3年後)：現状を下回る。 平成 21 年度の取組み結果については7月に調査予定。

【地域住民の主役の防災まちづくり】

達成

危機管理監セルフレビュー（自己点検）

府民が安全・安心に暮らせるまちづくりを目指して、自分の身は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守るといった防災意識の向上を通じて、地域における安心・安全を実感いただけるまちづくりに努めてきました。

地域防災活動の推進については、全市町村で実施したアンケート調査やヒアリングにおいて、自主防災組織ができない要因は、必ずしも一律でないことを把握した上で、各地域の実情に応じた働きかけを行いました。自主防災組織の未設置町(2町)は、目標どおり平成21年度で解消しており、組織率も着実に向上しつつあると考えます。

引き続き、府内7箇所にある土木事務所地域支援課とも連携しながら各地域の実情に応じた取り組みをすすめ、住民の自助・共助による地域防災活動の充実を図りつつ、3年間で自主防災組織の組織率50%未満の市町村(マニフェスト策定時23市町村 22.3 現在18市町村)を解消するという目標の実現に努めます。

地震発災直後の帰宅困難者対策は「大都市圏特有の課題」であることから、府・市連携によって進めることが必須との課題認識のもと、帰宅困難者対策に取り組んできました。

平成21年7月には、大阪市と合同で、鉄道事業者、ビル管理会社、地下街等管理会社や行政機関などからなる「大阪駅周辺における大規模災害時帰宅困難者対策検討会」を設置し、課題整理の上、対応の検討を重ね、一定の基本方向を確認しました。あわせて、事業者に対する研修をはじめとした啓発や取組みに対する協力事業者の拡充等、一定の目標の達成が図られました。

今後とも府・市連携による官民共同の検討会を活用するとともに関西広域機構や他の自治体とも連携した帰宅困難者対策をマネジメントしていきます。

平成 21 年度の取組結果・実施状況

《その実現に向けて、今年度何をするのか？～施策推進上の目標》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
<p>住民の自助・共助による地域防災活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木事務所と連携した啓発活動の全市町村での実施 ・自主防災組織の活動実態の把握と充実に向けた取組強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織へのアンケートを実施し、その結果をHPで公表した。(H21.9月) ・ 府内市町村の実情を把握するために、土木事務所と連携し、全市町村で自主防災組織に関するヒアリングを実施するとともに、啓発活動、DIG 訓練、講演等を実施した。 ・ スタート時点の大阪府組織率は、74.6%(全国平均 71.7%)であったが、12月現在75.8%(全国平均 73.5%)に上昇。(現在組織率を調査中、12市町で上昇見込) ・ 組織率 50%未満の市町村(未設置町 2 町を含む 23 市町村)は、22 年 3 月末では、未設置町を解消し 18 市町村に減少。 ・ 自主防災組織の結成促進・活性化のために行った市町村ヒアリングの結果概要と特徴ある事例、取組をまとめて、全市町村に提供した。 ・ 自主防災組織の結成促進・活性化のために、小学校区を単位とした「地域力再生事業」(30,000 千円)と地域での「防災マップづくり支援事業」(3,115 千円)を予算化。(H22 年度)
<p>大阪駅周辺の帰宅困難者対策の検討開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府・市連携による官民共同の検討組織の設置と対策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市と合同で、鉄道事業者、ビル管理会社、地下街等管理会社や行政機関などからなる検討会を21年7月に設置。 ・ 検討会を3回実施し、「とどまる」「ともに働く」「無事に帰す」「地域で保護」の4つの基本方針を決定。 ・ 帰宅困難者の発生を抑止する観点から、企業のBCP作成など防災対策を促進するため、関係団体を通じて啓発を実施。 ・ 平成16年度より進めてきた帰宅支援ステーションについて、新たに2事業者と協定を締結・拡充。(計 23 事業者・府内 3,214 店舗(協定締結者は関西広域機構)) ・ 協定締結事業者の協力を得て、帰宅支援ステーションの広報活動を平成 22 年 1 月に実施し、ステーションの正しい理解と活用を促進。 ・ 帰宅困難者対策に関する先進事例の現地調査を実施。 旧居留地連絡協議会(神戸市) 東京駅周辺防災隣組(千代田区)

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトプット》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
自主防災組織率の向上と未設置町の解消 ・今後3年間で組織率50%未満の市町村(23市町村)をゼロへ ・未設置町の解消	・21年度の達成度測定は、調査中(結果判明予定:5月末) ・組織率50%未満の市町村数 H22.3末 18市町村(H20.4時点 23市町村) ・未設置町(2町)は解消

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトカム》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
府民意識・認知度・満足度の向上、住民自らの取組、地域の取組の向上。 ・地域で、共助の取組により、地震などの災害が発生した際に、その備えができていると感じる府民の割合 ・今後3年間で20%へ 昨秋実施のインターネットアンケート結果 9.9%	・おおさかQネットによるアンケートの実施

【大阪府庁の災害対応力の向上（府庁 BCP の推進）】

危機管理監セルフレビュー（自己点検）

府民の安全、安心を実現するため、まず大阪府が災害時にきちんと機能できるようにすることが大切であると考え、府庁 BCP の推進を重点課題として位置づけました。

その具体的な実現のため、府庁業務継続計画（BCP）を策定した上で、部局版 BCP の策定、震災訓練での BCP の点検等を通じて、全庁的な BCP の定着を図りました。

こうした取組みを通じて、1月15日の防災訓練前後比較では、職員の BCP についての認知、具体的内容についての理解状況とも、向上していることが窺える。（訓練実施時に訓練参加職員を対象に実施）他方、この調査では、災害時に自らの役割を理解し、行動できるという職員は6割にとどまっているという課題も明らかになりました。

引き続き、平成 22 年度から新たに設けた危機管理点検週間の活用、職員に対する研修・訓練の充実等を通じて、大規模地震災害時に確実に動ける府庁となるようマネジメントしていきます。

平成 21 年度の取組結果・実施状況

《その実現に向けて、今年度何をするのか？～施策推進上の目標》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
府庁業務継続計画(BCP)の策定と全庁的な定着 ・全庁版 BCP の策定 ・各部局への BCP に基づく対応の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・府庁業務継続計画(全庁版)を策定(21.6) ・BCPの視点を取り入れた地震対策訓練の実施(22.1.15) ・BCP検証会議の実施(22.1.15)
府職員の実践的な防災訓練の実施(BCPの検証)	

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトプット》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
全庁版 BCP 策定を踏まえた部局版 BCP の策定(全部局対象)	・部局版BCPの策定(全部局策定見込)
全部局の訓練への参加(約800名)	・BCPの視点を取り入れたブラインド型の実践的な訓練の実施(22.1.15)

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトカム》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
府職員の習熟度・対応力の向上 ・訓練参加職員を対象としたアンケートを実施(約56.8%回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの認知度 50.8%(訓練前) 68.6%(訓練後) ・BCPの内容の認知度 24.2%(訓練前) 37.2%(訓練後) ・災害時における役割の理解と対応力の把握 59.2%(理解し、行動できる)